

財団法人水島地域環境再生財団

## 2011年度事業報告書

2011年4月1日～10月31日

2011年度には、公益法人改革や平成20年度会計基準にあわせ、事業区分の変更をおこなった。重点項目と個別項目にわけて実施した。個別項目は【調査研究】【提言活動】【講師派遣】【視察受入、研修事業】【学習講座・啓発活動】【支援連携】【情報発信】の7つの区分とした。

2011年度は、前年度におこなった、国内外からのツアー参加者を増やすプロジェクトを進展させ、「みずしまプロジェクト」とし、視察・研修者を増やすとともに、地域の担い手を増やすことを重点とした。

また、倉敷市の懸案事項であった「水島サロン」が、あらたに「水島環境交流スクエア」として、環境拠点としてリニューアルオープンする。こうした地域の動きにあわせ、みずしま財団としても環境学習の機会や講師派遣を充実させた。

本年度は、倉敷公害訴訟和解成立から15年の節目でもある。倉敷公害訴訟が水島地域と岡山県及び全国に果たした役割や大気汚染公害といった基本的情報が次世代等に伝えられていない課題もあり、和解成立15周年記念事業として、こうした情報を伝えていくという作業にも取り組んでいくことで、みずしま財団の「公害経験とその教訓を伝え、将来の世代が安心して暮らせる環境を創出する。」というミッションを果たすことを目指した。

なお、11月1日に「財団法人水島地域環境再生財団」の解散及び「公益財団法人水島地域環境再生財団」への移行登記を行ったため、事業年度は、2011年4月1日～10月31日となっている。

### 1. 重点項目

#### (1) みずしまプロジェクトの強化

倉敷市水島地域の公害経験を活かし、公害・環境問題が深刻化している中国をはじめとしたアジアの公害・環境問題の解決、また公害を2度と繰り返さない、どの国でも公害を発生させない、そして持続可能な社会を形成するということを目的とした「みずしまプロジェクト」を推進した。

- ・ 9月6日大学生のための社会見学「水島コンビナートと倉敷町家を訪ねる旅」

### 2. 個別項目

#### 【調査研究】

地域住民のための研究機関としての役割を果たすために「水島のまちづくり」「公害・地球環境」「高梁川・瀬戸内海の環境再生」「コンビナート研究」を大きなテーマとして、新

たな課題の発掘やその解決にむけた調査研究をおこなった。

\* 瀬戸内海の研究

- ・ 海守さぬき会（香川県）の海底ゴミ調査委託

\* 公害資料保存

- ・ 大原社会問題研究所江頭説子氏の生活史聞き取り調査に協力

【提言活動】

調査研究活動等で得られた知見、また研究者や他NPO等と連携などを活かし、提言活動をおこなった。

- ・ 岡山県環境審議会廃棄物部会
- ・ 岡山県河川整備審議会の審議会委員
- ・ 備讃瀬戸環境修復協議会味野湾部会（国土交通省）委員

【講師派遣】

地域の環境への取り組みや市民力アップを目的に、講師派遣を積極的におこなった。

- ・ 5/21 上成地区社会福祉協議会 まちづくり
- ・ 5/21 おかやま環境ネットワークファミリープログラム 漁業体験
- ・ 4/26、5/24、6/28 水島公民館 環境講座
- ・ 5/22 玉野消費生活問題研究協議会 フードマイレージ体験ゲーム
- ・ 7/15 水島小学校 八間川
- ・ 7/20 浅口市教育委員会「環境学習エコツアーに参加しよう」
- ・ 7/31 BLUE SEA プロジェクト（牛窓）
- ・ 8/2 CO-OP 鴨方フードマイレージ
- ・ 8/4 海守さぬき会高松での体験学習
- ・ 8/20 GREENDAYS COLLEGE in 総社 パネラー
- ・ 9/10 おかやまエコマインドネットワーク漁業体験（日生）
- ・ 10/4 倉敷南高校 キャリア教育
- ・ 10/14 浅口市 市民カレッジ フードマイレージ
- ・ 10/22 海守さぬき会漁業体験学習（引田）

【視察受入、研修事業】

みずしまプロジェクトと連動して、受け入れ体制の強化をはかった。

- ・ 岡山県国際交流事業受入 8月22日～26日
- ・ 専修大学社会学聞き取り調査13名受入（9月7～9日）
- ・ 川崎医科大学研修受け入れ（6月8日、8月31日、9月28日、10月12日、11月2日）

(予定)

- ・ 水島コンビナート環境体験ツアー (岡山県備中県民局委託事業 9月30日、10月28日)

#### 【学習講座・啓発活動】

地域の環境への取り組みや市民力アップ、住民のよりよい生活を目的に、地域の現状・課題に即した学習講座・啓発活動をおこなった。

##### (1) 八間川調査 (KJB 瀬戸内基金助成事業)

- ・ 第49回 (6月26日): 八間川調査 ゴミ調査
- ・ 第50回 (8月7日): 八間川調査 スライドショー「八間川の生き物」(講師: 田賀辰也氏)、魚のとり方講習会

##### (2) 海域を利用した自然体験学習

- ・ 瀬戸内海的环境について学ぶ体験学習 (自然公園財団、瀬戸内オリーブ基金) 8月21日 アマモ場観察会
- ・ 海ごみ普及啓発のための体験学習事業 (岡山県水産課)

##### (3) 高梁川流域におけるエコ指標づくりを目指した取り組み (岡山県備中県民局)

小学生により地域の環境健康度を測定するための指標 (エコ指標) づくりのための検討会 (9月21日) をおこなった。モデルツアー実施、手引き書取りまとめ等引き続き行う。

#### 【支援連携】

地域課題に協働して取り組んでいけるよう、地域の市民活動の底上げをめざして、他団体と連携して、支援体制を整えることをめざした。

- ・ 水島夢 koi!・koi!実行委員会事務作業請負 (水島おかみさん会)
- ・ DONATION 暮らしへの参加・協力
- ・ 倉敷環境市民会議 (エコらば倉敷) 毎月1回例会開催

#### 【情報発信・収集 (資料館)】

地域や公害・環境に関する情報を収集し、提供をおこなった。様々なツールを組み合わせ効果的な発信・収集をおこなった。

- (1) 機関誌「みずしま財団たより」60号 (5月 特集: 2011年度 みずしま財団事業計画)、61号 (7月 特集: 塩飽が行く! 瀬戸内海海ゴミプロジェクト!), 62号 (9月 特集: 祝! 第50回八間川調査) を発行した。
- (2) FM 毎週金曜日に約15分間の番組で情報発信した。テーマ: 4月 春の海、5月 倉敷の環境、6月 やっぱり6月は環境月間、7月 NPO、8月 暑さを乗り切る食と

- エコ、9月 エコでダイエット、10月 お弁当を持って出かけよう
- (3) メルマガ 内部関係者向けの情報を週に1度発信し、情報共有した。
  - (4) サイト等 ブログ等にてイベント情報の発信を行った。
  - (5) 資料館 故坂本忠次先生追悼展示(4月~5月)、防災展(6月~7月)、八間川展(8月~9月)

#### 組織運営

##### (1) 公益法人改革

2011年7月1日に岡山県へ公益認定申請書を提出し、10月20日に岡山県より認定書が届いた。11月1日、「公益財団法人水島地域環境再生財団」名称変更による設立および、「財団法人水島地域環境再生財団」解散を登記した。

##### (2) ファンドレイジングへの取り組み強化

- ・ 公益認定により、寄附の受け入れ体制の整備について検討している。